

貸借対照表

(平成21年3月31日現在)

北海道北斗市清水川142番地12

株式会社 函館なとり

(単位：千円)

科 目	金 額	科 目	金 額
(資産の部)		(負債の部)	
流 動 資 産	37,712	流 動 負 債	673,242
現金及び預金	6,766	支払手形	2,479
売掛金	19,953	短期借入金	469,000
前払費用	5,617	1年内返済予定の長期借入金	55,948
貯蔵品	1,567	リース債務	1,165
未収還付法人税等	3,965	未払金	108,917
貸倒引当金	△ 159	未払費用	15,101
		未払消費税等	1,448
固 定 資 産	1,020,170	預り金	1,882
(有形固定資産)	1,016,081	賞与引当金	17,300
建物	637,070	固 定 負 債	292,492
構築物	12,460	長期借入金	287,441
機械及び装置	108,919	リース債務	5,051
車両運搬具	396		
工具器具備品	2,537	負 債 合 計	965,734
土地	248,480		
リース資産	6,216	(純資産の部)	
(無形固定資産)	818	株 主 資 本	92,148
電話加入権	818	資本金	10,000
(投資その他の資産)	3,270	利益剰余金	82,148
出資金	20	その他利益剰余金	82,148
差入保証金	71	繰越利益剰余金	82,148
前払年金費用	2,502	(うち当期純利益)	380
その他の投資	676	純 資 産 合 計	92,148
資 産 合 計	1,057,883	負 債 及 び 純 資 産 合 計	1,057,883

※第16期

個別注記表

1. 重要な会計方針に係る事項に関する注記

- (1) 有価証券の評価基準及び評価方法
該当事項はありません。
- (2) たな卸資産の評価基準及び評価方法
該当事項はありません。
- (3) 固定資産の減価償却の方法
- ① 有形固定資産（リース資産を除く）定率法
ただし、平成10年4月1日以降に取得した建物（建物付属設備を除く）については、定額法を採用しております。
- ② リース資産……リース期間を耐用年数とし、残存価格を零とする定額法
なお、所有権移転外ファイナンス・リース取引のうち、リース取引が平成20年3月31日以前のリース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっております。
- (4) 引当金の計上基準
- ① 貸倒引当金……債権の貸倒れによる損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率による計算額を、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を検討し回収不能見込額を計上しております。
- ② 賞与引当金……従業員に対して支給する賞与の支出に備えるため、支給見込額に基づき計上しております。
- ③ 退職給付引当金……従業員の退職給付に備えるため、当事業年度末における退職給付債務及び年金資産の見込額に基づき計上しております。
なお、数理計算上の差異については、その発生時の従業員の平均残存勤務期間以内の一定の年数（10年）による定額法により、それぞれ発生の翌期から費用処理しております。
- (5) その他計算書類作成のための基本となる重要な事項
消費税等の会計処理……消費税及び地方消費税の会計処理は、税抜方式を採用しております。

2. 貸借対照表に関する注記

(1) 有形固定資産の減価償却累計額	1,618,484 千円
(2) 関係会社に対する金銭債権および金銭債務	
短期金銭債権	19,890 千円
短期金銭債務	<u>69,802 千円</u>
合計	<u>89,693 千円</u>

3. 1株当たり情報に関する注記

(1) 1株当たり純資産額	460,743 円 62 銭
(2) 1株当たり当期純利益	1,902 円 49 銭
(注) 1株当たり当期純利益の算定上の基礎	

損益計算書上の当期純利益	380 千円
普通株主に帰属しない金額	— 千円
普通株式に係る当期純利益	380 千円
普通株式の期中平均株式数	200 株

4. 重要な後発事象に関する注記

該当事項はありません。